

日本一挑戦プロジェクト(子ども・若者)関連の取組について

1 取組の柱と方向性

子ども・若者プロジェクト ～日本一生み育てやすい県への挑戦～

【取組の柱と方向性】

1.出逢い・結婚の希望を叶える

出逢い・結婚支援の充実・強化

2.子どもがほしい人の希望を叶える

第2子以降の希望を後押しする施策等の展開

3.安心して子育てできる教育環境をつくる

様々な環境の子どもを支え、
夢や希望を後押しする教育環境の整備

グリーン成長プロジェクト ～再造林率日本一への挑戦～

【取組の柱と方向性】

1.循環型林業の推進

産学官・県民が一丸となった再造林に係る
“宮崎モデル”の構築

2.循環型農水産業の推進

地域資源を最大限活用する宮崎らしい
取組の構築

3.脱炭素化による成長の実現

各産業部門の脱炭素経営の推進

スポーツ観光プロジェクト ～スポーツ環境日本一への挑戦～

【取組の柱と方向性】

1.世界レベルのキャンプ・大会の戦略的な誘致

競技別部会、ワンストップ窓口等による
誘致・受入体制の強化

2.戦略的・計画的なハード整備

スポーツ施設整備計画による施設の高質化

3.県内全域のスポーツ環境の充実

(全県化・通年化・多種目化)

県・市町村のネットワーク強化

2 今年度の取組状況、主な指標の進捗

【主な取組状況】

- 結婚支援コンシェルジュ 2名を配置
(市町村担当、企業担当)
- 男性の育休取得に取り組む企業等の支援
- 県教育支援センター「コネクト」の設置

【主な指標の進捗状況】

○合計特殊出生率

PJ前(R4):1.63 ⇒ 目標:1.8台
現況(R5):1.49 (全国第2位)

○婚姻数

PJ前(R4):3,805組 ⇒ 目標:4,500組
現況(R5):3,592組

○県内高校生留学生数

PJ前(R元):88人 ⇒ 目標:400人
現況(R5):194人

【主な取組状況】

- 宮崎県再造林推進条例の公布・施行
- 全国初となる地域再造林推進ネットワーク
を県内 8 地域に設立
- 耕畜連携コンソーシアムを県内14地域に
構築

【主な指標の進捗状況】

○再造林率

PJ前(H30~R2平均):73% ⇒ 目標:90%以上
現況(R5):78% (全国第4位)

○再造林推進ネットワーク加入事業体数 (累計)

PJ前:— ⇒ 目標:400事業体
現況(R6):140事業体 (1月末時点)

○粗飼料自給率

PJ前(R3):88% ⇒ 目標:100%
現況(R5):86%

【主な取組状況】

- キャンプ総合窓口「ひなたスポーツ観光
ステーション」の開設
- キャンプ・大会等の競技別誘致部会の設立
- 「ツール・ド・九州2025」の本県開催誘致

【主な指標の進捗状況】

- プロチームキャンプ数 (野球・サッカー・ラグビー)
PJ前(R4):32チーム ⇒ 目標:43チーム
現況(R5):31チーム (全国第2位)

○春季キャンプ・合宿の経済効果

PJ前(R4):118億円 ⇒ 目標:150億円
現況(R5):107億円

○観光入込客数

PJ前(R4):12,691千人回 ⇒ 目標:16,500千人回
現況(R5):13,574千人回

子ども・若者プロジェクトの新たな展開

－本県の強みを生かし、伸ばすために－

- 近年の出生数は大幅な落ち込み。
全国上位の合計特殊出生率も大幅に低下。
- 未婚化・晩婚化は進んでいるが、
婚姻のピーク年齢は20歳代後半。
若い世代の婚姻数の回復が必要。
- 従来から高かった
第2子以降の出生割合が低下。
結婚→出産→第2子以降につなげる
取組の強化が必要。
- これまでの環境整備等の取組に加えて、
近年高まっている子育てに対する不安感
や負担感を軽減することが必要。
- 近年回復傾向にある本県の社会動態を
社会減ゼロまで改善するためには、
進学や就職等に伴う県外流出が著しい
若者・女性の定着を図ることが重要。
- 若者・女性が活躍できる環境を整え、
若い世代の結婚や出産、子育ての希望を
叶え、婚姻や出生の回復につなげる必要。

取組の柱と主な取組

1 出逢い・結婚の希望を叶える

- ・「ひなたの恋 応援アンバサダー」による気運醸成
- ・結婚支援コンシェルジュによる企業等の取組促進
- ・結婚サポートセンターの体制強化
- 結婚支援サービス利用への初期費用相当額の支援 など

2 子どもがほしい人の希望を叶える

- ・男性育休の取得促進に取り組む企業等の支援
- ・市町村の実情に応じた少子化対策の支援
- 第2子保育料（0～2歳児）の負担軽減
- 放課後児童クラブの待機児童解消対策 など

3 安心して子育てできる教育環境をつくる

- ・高校生の海外留学支援の拡充
- ・不登校支援拠点の設置やSC・SSW増員
- 科学人財の育成、AI教材を活用した学力向上対策 など

自然減対策の更なる充実



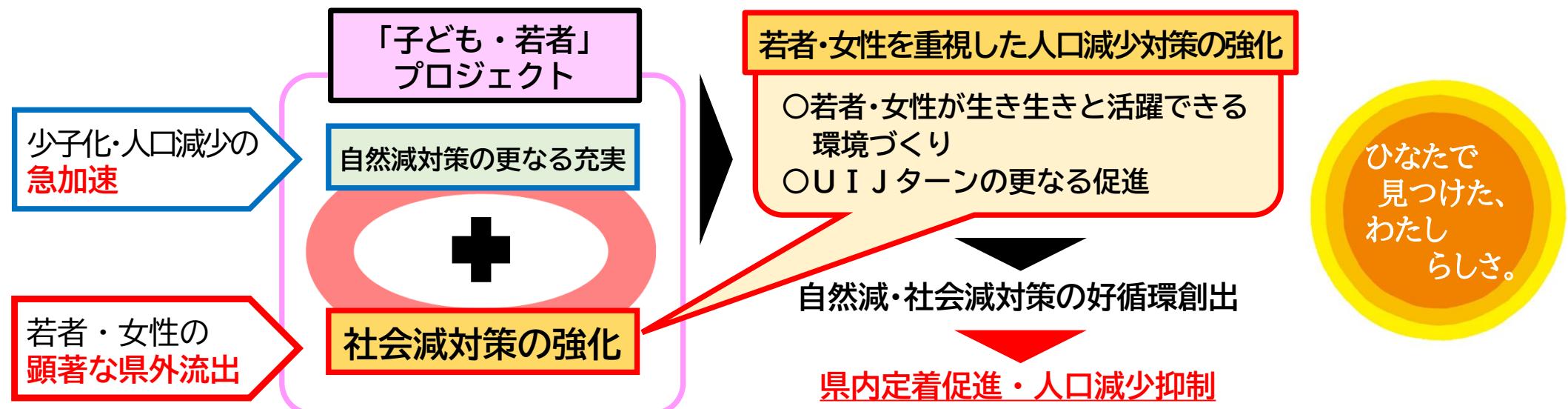
社会減対策の強化

4 若者・女性を重視した人口減少対策の強化

⇒魅力ある雇用の創出や

柔軟で多様な働き方の推進等を通じて、
若者・女性が生き生きと活躍できる
宮崎づくりを推進

子ども・若者プロジェクトの新たな展開 – 若者・女性を重視した人口減少対策の強化 –



1 県内定着・活躍促進の機運醸成

- ◎みやざき女性の活躍推進会議の取組強化
- 女性活躍促進に向けたアウトリーチ支援
- 男女共同参画センターによる相談・啓発など



2 柔軟で多様な働き方ができる企業の拡大

- ◎女性にやさしい職場環境づくりに取り組む企業の支援（ソフト・ハード）
- 働き方改革、業務効率化の支援など



3 若者・女性のチャレンジ応援

- ◎若者のU I Jターン就職支援
- 非正規労働者等の正規雇用への転換支援
- 若者・女性等のキャリア形成、スキルアップ、起業支援
- 女性就業支援センターの体制強化
- 中高生が県内企業の魅力に触れる機会の拡大など



主なKPI (成果指標)

① 社会動態（前年10月1日から当年9月30日まで）

PJ前（令和4年）▲1,072人 ⇒ 現況（令和6年）▲110人 ⇒ 令和8年 0人

② 県内企業の管理職（係長相当職以上）の女性割合

PJ前（令和4年度）23.2% ⇒ 現況（令和5年度）24.3% ⇒ 令和8年度 30.0%

〈参考〉子ども・若者プロジェクト～日本一生み育てやすい県への挑戦～

7年度当初 49事業
2,320百万円

主な関連事業～自然減対策～

7年度当初 28事業
1,310百万円

朱書き・網掛け…7年度からの新たな取組、改善する取組
 「○」…日本一挑戦PJ推進基金を財源とする取組（他財源と併せて構成する取組を含む）
 「・」…その他一般財源、国庫、宮崎再生基金等を財源とする取組
 （※）…上記の事業数、予算額の外数となる取組

1 出逢い・結婚支援の充実・強化

◎結婚へのポジティブイメージや社会機運の醸成 蛙亭イクラ氏「ひなたの恋 応援アンバサダー」委嘱、メディア戦略の強化	70百万円	・「ひなたの出逢い・子育て応援運動」の推進 出逢い・子育てを応援する機運醸成、ライフステージに応じた支援	31百万円
◎結婚支援コンシェルジュによる市町村・企業との連携強化 みやざき結婚サポートセンター内に2名配置（市町村担当、企業担当）	14百万円	・みやざき結婚サポートセンターの運営（※） 1対1の出逢いのサポート	42百万円
◎結婚支援サービス利用への初期費用相当額の支援 民間のマッチングアプリや結婚相談所の利用料補助	24百万円		
◎県内と県外の独身者をつなぐ婚活イベント カーフェリー等を活用した婚活ツアーの開催	11百万円		

2 第2子以降の希望を後押しする施策等の展開

・市町村と連携した第2子保育料（0～2歳児）の負担軽減 現行の利用者1/2負担を1/4負担へ軽減	207百万円	◎病児保育の利用促進 予約システムの導入補助、施設の利用料助成	16百万円
◎放課後児童クラブの待機児童解消 放課後のこどもの居場所確保支援、保育人材の確保強化	33百万円	◎男性の育児休業取得、家事参加の促進 男性の育児休業取得奨励金、企業連携型子育て応援イベント、パパ向けワークショップ	40百万円
・不妊検査・治療、妊娠婦健診の経済負担軽減 不妊検査・治療費助成、妊娠婦健診の交通費助成	172百万円	◎市町村の実情に応じた少子化対策の支援 少子化要因見える化ツールの作成、地域の実情に応じた市町村の少子化対策の支援	20百万円
・産後ケアの推進 出産による退院直後の母子に対する心身のケアや育児サポートを推進	14百万円	・プレコンセプションケアの支援推進 若者向け性・妊娠の健康教育、相談センターの運営	17百万円

3 様々な環境の子どもを支え、夢や希望を後押しする教育環境の整備

◎高校生の海外留学支援 留学体験（アメリカ、アジア）、ファームステイ（オセアニア）等	72百万円	・帰国・外国人児童生徒の学習環境充実 日本語教育指導教員・日本語教育サポート等の配置	28百万円
◎小中高の教育段階ごとの科学人財の育成 科学技術に触れるイベント開催、最先端の研究機関や大学等への派遣	32百万円	・キャリア教育の充実（※） コーディネーター配置による地域・産業界との連携、教育プログラムの推進等	14百万円
◎AI教材を活用した児童生徒の学力向上 コンピュータ上でのテスト（CBT）やデジタルドリルの導入	31百万円	・県立図書館の電子図書館サービス（※） 図鑑・事典・読み物等の電子書籍提供、宮崎の映像資料のデジタル化	30百万円
◎不登校等支援の強化 県教育支援センター「コネクト」の設置、全公立学校へのSC・SSW等配置・派遣	288百万円		

〈参考〉子ども・若者プロジェクト～日本一生み育てやすい県への挑戦～

7年度当初 49事業
2,320百万円

主な関連事業～社会減対策～ 7年度当初 21事業 1,010百万円

朱書き・網掛け… 7年度からの新たな取組、改善する取組
 「○」…日本一挑戦PJ推進基金を財源とする取組（他財源と併せて構成する取組を含む）
 「・」…その他一般財源、国庫、宮崎再生基金等を財源とする取組
 （※）…上記の事業数、予算額の外数となる取組

4-1 若者・女性の県内定着・活躍促進に向けた機運醸成

・女性活躍・男女共同参画の機運醸成(みやざき女性の活躍推進会議の取組強化) 県民・企業向けシンポジウム開催、HPリニューアルによる発信強化(優良事例等) 受講対象に応じた研修プログラムの充実(経営者・管理職・女性リーダー)	10百万円	・男女共同参画社会づくりの推進 男女共同参画センターによる相談支援、講座開催等	40百万円
		・女性活躍促進に向けたアウトリーチ支援 メンター・アドバイザー派遣、ひむかWOMANサイト	30百万円

4-2 柔軟で多様な働き方ができる企業の拡大

◎女性にやさしい職場環境づくりに取り組む企業への支援 女性活躍に関する取組(積極採用、管理職登用、多様な働き方等)への奨励金 女性が働きやすい環境整備(トイレ、更衣室、防犯カメラ等)への補助金	95百万円	◎働きやすい職場環境づくり・働き方改革の推進 「仕事と生活の両立応援宣言」、「ひなたの極」、育児休業から職場復帰への奨励金 ・デジタル技術等による業務効率化の支援(※) デジタル技術等の導入・DXに取り組む事業者への補助	7百万円 247百万円
--	-------	---	----------------

4-3 働いている/これから働く若者・女性のチャレンジを応援

・若者のUIJターン就職支援 給付金の支給(29歳以下の三大都市圏等在住、@30万円/人) 就職活動費用(宿泊・交通費)の補助⇒拡充:引越し費用も対象	新卒等	120百万円	・都市部からの移住促進支援 移住支援金の支給【国制度分】東京23区 / 【県独自】三大都市圏等	359百万円
・非正規労働者等の正規雇用への転換支援 スキルアップ講座、企業見学、合同企業説明会等によるマッチング支援 みやざき若者サポートステーションのサテライトに支援員を配置、アウトリーチ支援	非正規等	13百万円	・県外大学生等のUIJターン就職支援 県外大学等と連携した学生への就職情報の提供や相談対応等 宮崎ひなた暮らしUIJターンセンターにおける無料職業紹介	58百万円
・中高生が県内企業の魅力に触れる機会の拡大 中学生の産業教育・職業体験機会を充実 工業系高校の企業見学・デュアル教育システムの強化	中高生	78百万円	・若者・女性の県内就職・定着の促進 官民連携による奨学金の返還支援(拡充:年度途中採用者も対象) 学生向け就職説明会、業界研究イベント、転職者向けキャリアカウンセリング、セミナー	71百万円
◎若者・女性等のキャリア形成・スキルアップ支援 若者・女性の活躍につながるデジタル関連資格等の取得支援(建設産業) 働く女性のキャリア形成・スキルアップ等に向けたテーマ別プログラム等(※) 育児による離職者等向けITスキル講座、託児サービス付インターンシップ等(※)	女性等	94百万円	・女性就業支援の体制強化 みやざき女性就業支援センター相談員・求人開拓員の増員による体制強化	49百万円
◎若者・女性等の起業チャレンジ支援 若者・女性に特化したビジネスプランコンテスト、受賞者への起業経費補助等		26百万円	・若者・女性等にとって魅力的な企業の誘致促進 若者・女性が求める就職先を意識した企業開拓の強化等	8百万円